

“新型コロナ”で我慢をしている子どもたちを笑顔にしたい！

はせがわ ひろし

町出身の長谷川洋さんから人気アニメ「チェブラーシカ」グッズを、町内の方から、手作りマスクをプレゼントしていただきました。



また、私たちのことを思い、お一人でマスクを手作りして下さった方がいると聞き、感激しました。お二人の思いをしっかりと受け止めてがんばりたいです。」とお礼を述べました。

この日は、お二人の代理として伊田典穂教育長が、小学校と中学校の代表者にプレゼントの品を贈呈しました。代表で受け取った児童は、「町出身の方の中に、私たちもよく知っているアニメを数多く手がけてこられた方がいると知り驚きました。」

また、町内の方より小学校低学年の子どもたちに手作りマスク48枚をご寄贈いただきました。この日は、お二人の代理として伊田典穂教育長が、小学校と中学校の代表者にプレゼントの品を贈呈しました。代表で受け取った児童は、「町出身の方の中に、私たちもよく知っているアニメを数多く手がけてこられた方がいると知り驚きました。」

町内の園児、児童、生徒に気持ちのこもった素敵なプレゼントがあり、5月12日に贈呈式を行いました。



「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

小中学校の新型コロナウイルス感染症への対応

政府による緊急事態宣言が全国一律で延長された中、鳥取県では県立学校の5月7日からの学校再開が決定され、本町におきましても、感染防止対策を徹底した上で小中学校を再開することとしました。多くの都道府県では未だに学校の臨時休業が続き、子どもたちの学びをどう保証していくかの論議も起こっている状況で、このように学校を再開することができたのは、多くの町民、県民の皆さんが感染防止のために様々なご協力をしてくださっているからに他なりません。本当にありがとうございます。

5月1日に文部科学省から出された「新型コロナウイルス感染症対策の現状を踏まえた学校教育活動に関する提言」では、「学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ段階的に実施可能な教育活動を開始し、その評価をしながら再開に向けての取組を進めていくという考えが重要である。」とされています。そして、具体的な取り組みとして、以下に挙げた例を含め、感染拡大防止の観点からリスクの高い学習活動を行わないなどの感染拡大防止対策をとることが求められました。

- ・音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動
- ・技術・家庭科における実習および調理などの活動
- ・体育科・保健体育科における児童生徒が密集する運動や児童生徒が近距離で組み合ったり

- ・接触したりする場面が多い運動
- ・児童生徒が密集して長時間活動するグループ学習
- ・運動会や文化祭、学習発表会など児童生徒が密集して長時間活動する学校行事
- ・他の都道府県等に移動する、校外学習や宿泊を伴う学校行事

学校では、長期的な感染防止対策を講じながら、教育活動を行っていきます。具体的には、①ソーシャル・ディスタンス（人と人との距離）を保ち、3密を防ぐための工夫、②感染しない、感染させないための衛生的な生活習慣（手洗いや換気の徹底、マスクの着用など）、③学校行事や学習活動の見直し、などです。これらを実行していくためには、前例にとらわれず、大人も子どもも意識を変えていく必要があります。今後は、学校においても「新しい生活様式」をふまえながら感染防止に努め、子どもたちの学びを充実させていきたいと考えています。

7月に予定していたシアトル中学生の日南町訪問ですが、今年度は中止が決定されました。

